



電話機とユーザのファイル形式

カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成するには、更新するユーザごとに個々の値を定義します。

- 詳細については、[P.24-2](#) の「[BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加](#)」を参照してください。
- テキストベースの CSV ファイルについては、[P.A-3](#) の「[電話機とユーザの組み合わせのファイル形式](#)」を参照してください。

テキスト エディタを使用して CSV データ ファイルを作成した場合は、テキストベースのファイルに値を入力するためのファイル形式をすでに作成したということになります。値は、ファイル形式で指定されている順序でテキスト ファイルに入力済みです。

CSV データ ファイルが完成したら、ファイル形式をテキストベースの CSV データ ファイルに関連付ける必要があります。ファイル形式を CSV ファイルに関連付けると、各フィールドの名前は CSV データ ファイルの最初のレコードとして表示されます。この情報を使用して、各フィールドの値を正しい順序で入力してあることが確認できます。

電話機とユーザのファイル形式の追加

テキストベースの CSV データ ファイルでファイル形式を追加する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [一括管理] > [電話とユーザ] > [電話とユーザのファイル形式] > [ファイル形式の割り当て] の順に選択します。[ファイル形式の追加 (Add File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成したテキストベースの CSV ファイルを選択します。
- ステップ 3** [形式ファイル名 (Format File Name)] フィールドで、このタイプのバルク トランザクション用に作成したファイル形式を選択します。
- ステップ 4** [送信] をクリックして、一致するファイル形式を CSV データ ファイルに関連付けるジョブを作成します。
- ステップ 5** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 64 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.65-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.25-2 の「関連項目」](#) を参照してください。

関連項目

- [BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加 \(P.24-2\)](#)
- [電話機とユーザの組み合わせのファイル形式 \(P.A-3\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.65-4\)](#)